

市川市立柏井小学校 学校だより

かしわい

No.17 令和4年2月10日(木)
校長 横田礼名

学校教育目標

豊かな心と
健やかな体を持ち
進んで学ぶ子どもを育てる



♪令和4年度、柏井小に特別支援学級が新設されます

1月15日付「広報いちかわ」にも掲載されておりましたが、令和4年度より、柏井小学校に新たに特別支援学級（知的障がい）が新設されることになりました。

令和3年度にも、学校経営の重点として『特別支援教育の推進』ということ掲げさせていただきましたが、今回の支援学級開設により、さらに柏井小学校全体として特別支援教育への理解と実践を進めていきたいと考えております。そこで今回の学校だよりでは、義務教育段階における特別支援教育の考え方を簡単ではありますが示させていただきたいと思います。

特別支援教育とは、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。（中央教育審議会答申より）

インクルーシブ教育システムとは

一人一人に応じた指導や支援に加え、障がいのある者とない者が可能な限り共に学ぶ仕組みを構築していくこと



合理的配慮とは

一人一人に応じた指導や支援のために、教員を確保したり、施設・設備を整備したり、教育課程の編成や教材等の配慮を行うこと

特別な支援を必要とする児童生徒の増加

統計によると15年前と比較して「特別支援学級」及び「通級指導教室」に在籍する児童生徒は2倍以上増えています。このことは、特別支援教育への理解が高まったためとも言えます。この実情に伴い、市川市においても毎年新たに「特別支援学級」及び「通級指導教室」が新設されています。

学校としてしっかりと認識しておきたいことは、特別支援教育とは「特別支援学級の児童に対してのものだけではない」ということです。特別支援教育は学校に在籍するすべての児童に対して個に応じた支援・指導を実践していくという考えのもとに成り立っています。そのため、通常の学級においてもその考え方のもとにユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境整備等を進めています。

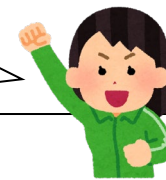
令和4年度に新設される特別支援学級は、以下のようにスタートします。

- ・1学級8人以下の異学年の児童で構成されます。担任1名、補助教員1名が指導、支援を行います。
- ・個々の状況に応じて、同学年の通常学級との交流活動を積極的に推進します。
- ・近隣の特別支援学級との交流活動を行います。

地域の皆さんも見守ってくださっています！

柏井っ子の良い活動

これからも頑張りましょう！



～雪の日の下校時に、下級生を誘導してくれました～ ❄️

1月の大雪の日、下校途中に立ち往生している車を見かけた6年生は、誰に言われるでもなく安全に通れるようにすすんで下級生を誘導してくれたそうです。その姿を見た地域の方から、「子供たちが素晴らしいことをしていました。」と、おほめの連絡をいただきました。2月の朝会で、6年生にその時の様子についてインタビューしたところ「特に大変なことをした訳ではありません。」「賞状やメダルはないけど、いい気分です。」と話してくれました。とっさの状況下に、何ができるか判断し、下級生の安全を優先して行った素晴らしい行動を聞き、とても誇らしくなりました。



～年末の防犯パトロールに参加しました～

柏井2丁目自治会長さんから、「子供たちが年末防犯パトロールに参加し、防犯活動がとても活気づきました。」と、ご報告をいただきました。9名の児童が12月21日から23日の防犯パトロールに参加し、積極的に「火の用心！」と呼びかけ街の安全のために活動したそうです。地域の皆さんとともにボランティア活動することは、とても



大切で素晴らしいことです。ボランティア活動証明書をいただきましたので、次の全校朝会で紹介したいと思います。



火の用心！

保護者の皆様

卒業式まで約ひと月となり、学校では「ありがとう さようなら月間」として6年生の卒業を祝う活動に全校で取り組んでいます。2月25日には「卒業を祝う会」を行う予定であります。まんえん防止等重点措置も延長となりそうですが、柏井小では保護者の皆様のご協力により、大きく感染が拡がることなく学校教育活動を行っていることに感謝いたします。引き続き令和3年度の最後をしっかりと締めくくれますよう、ご協力をお願いいたします。